令和元年度地方創生交付金事業に関する効果検証結果（令和2年10月7日　山県市まち・ひと・しごと創生会議による検証、令和2年11月25日　山県市議会全員協議会にて報告）

NO	対象事業名		事業期間	R1決算の成果説明書ページ	詳細事業名	事業費（予算額）	実績額	事業項目	事業の実績・数値目標に対するコメント（委員）	今後の事業実施について
1	田舎暮らし推奨加速化事業	1	H29～R1	46	山県市版シティプロモーション事業	23,000,000	22,581,720	・YAMAGATA　BASEの記事を作成 ・新規アンバサダーの追加 ・山県ツアーの企画、運営、イベント集客 ・企業タイアップ事業の実施	・ZIP-FMの山県エリアデーは聞いたことがある。 ・WebサイトのYAMAGATA　BASEからの情報発信は、魅力的だと思う。 ・閲覧数の増加はやはり効果があると思う。 ・豊かな自然のインスタ映え、転出超過人数、空き家の賃貸は結果が出ている。 ・大河ドラマが終われば、交流人口が減るのは当たり前で、ＫＰＩの設定に工夫が必要だったのでは。 ・地元企業へ例えばこういう場所であれば働くことができるかなどを聴き、近くから通勤できる空き家に移住定住してもらう。 ・年代を絞った事業や対象者を絞った事業など特徴のある施策を実施すると効果が上がる。 ・空き家バンクへの登録を充実させることが最も効果的で、この方向性で正しいと思います。 ・空き家バンクへの登録物件を通じた移住者を含め、移住者全体の状況はどうなっているか。転出超過人数の目標達成の要因をどのように分析しているか。	事業をもう一段深化させるために、「しごと」を通じた山県市の関わり方や市民の郷土愛を醸成を図る手法として、参考となるモデルの創出を行い、市外への新たなPR方法を検討する。また、モデル創出のために、市民等とアイデアソンなどを実施することでシビックプライドの醸成を目指す。
		2	H30～R1	146	歴史観光戦略促進業務委託	7,300,000	7,300,000	（１）周遊モデルツアーの企画・開発 （２）周遊モデルツアー集客、催行 （３）１～３月の送客 （４）旅行業者等による令和２年４～１２月の実施ツアー設定		・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送、東海環状自動車道山県IC開通をはじめ、山県市発足以来最大の認知度向上の機会が到来していることから、ドラマゆかりの地への来訪者等に対し、山県市内の風光明媚な自然の絶景をはじめ、他の魅力を最大限アピールすることにより、再訪を促していく。 ・歴史観光ガイドの育成・確立、風光明媚な絶景を核とした観光プロモーションと相まって、旅行会社等に観光商品造成を促していく。
		3	R1		山県市歴史観光のまちづくり支援業務委託	2,800,000	2,783,000	（１）観光ワーキンググループの形成支援 （２）歴史ストーリーを活かした観光ガイド育成 （３）他ワーキンググループと連携したプログラム開発		・「美濃国戦国案内人」に対し、ガイド提供予約が令和2年3月19日時点で18件、714名（定員）発生し、令和2年度にガイドを提供する予定。 （商品化：クラブツーリズム16件、個人2件　商品造成中：近畿日本ツーリスト、岐阜バス）→新型コロナウイルス感染症拡大の恐れから、令和2年度前半分はキャンセルが相次ぐ。
		4	R1		山県市歴史観光情報発信業務委託	1,900,000	1,870,000	（１）山県市カレンダー「風光明媚」製作　歴史を切り口とし、市内の風景や見所スポットをPRする内容のカレンダー　（内容企画・見所撮影・デザイン制作） （２）「#I am MITSUHIDE」光秀お面製作		・製作物のために撮影された画像が市の魅力発信に効果がある素材であるため、より多くの人が見ることができるよう市内および近隣市外において巡回写真展を開催し、継続的な発信で誘客につなげる。 ・さらに、市が活用するだけでなく、事業者も市のPRに寄与すると認められる場合に利用できるルールを整備し、多くの場で活躍する発信素材として活用できるようにする。
		5	R1	202～203	歴史ストーリー充実化業務	2,547,000	2,546,850	・小中学生向け山県市歴史概観パンフレット作成 ・歴史ストーリーガイド（歴史パンフレット・３種類）増刷		・大河ドラマによるブームを一過性のものにしないためにも、大桑城跡の国指定を目指し、市民が地元の歴史と遺産に対して誇りを持ち、郷土に対する理解や愛着を深めることができるようにする。 ・また、市外に対しては当市の歴史を知ることを通じて、山県市を知り、訪問するきっかけとなるようにしていく。
		6	R1		歴史ストーリー情報発信業務	1,502,000	1,501,820	・特別企画展「今、ときが動き出す～土岐鷹から麒麟へ～」の実施 ・岐阜やまがたスタンプラリーの実施 ・戦国・大桑城シンポジウムの開催		・大河ドラマによるブームを一過性のものにしないためにも、大桑城跡の国指定を目指し、歴史に関連した事業を展開し、集客や移住・定住につなげていく。
		7	R1	47	空家窓口業務管理委託	3,000,000	3,000,000	「田舎暮らし推奨企画振興業務委託事業」により活動する「ぎふ・山県おんせぇよぉ～」と連携し、空き家の相談窓口を設置する。		・良質な空き家の掘り起こしと所有者交渉を積極的に行い、空家バンク登録物件の充実を図る。 ・空家活用の促進と移住希望者や移住者の悩み解消の手助けができるよう、専門家と連携したよろず相談を行う。 ・空き家の適正価格を導き出すためのシミュレーションソフトの導入を行う。
		8	R1	46,47	田舎暮らし推奨企画振興業務委託	3,000,000	3,000,000	「ぎふ・山県おんせぇよぉ～」が主体となり事業を展開した。（移住者交流会・市内見学会の開催、オーダーメイドツアー・移住者インタビューの実施、移住定住相談フェアでのＰＲ）		・引き続き移住希望者と既移住者、地域住民との交流の場を創出できるようなイベントを開催する。 ・当市での暮らしのイメージを掴んでもらうため、田舎暮らし体験ができる施設を整備する。 ・移住希望者及び既移住者の相談受付やアフターフォローを総合的に行う窓口を設置する。 ・PR強化（東海圏での移住セミナーの出展、SNSを活用した情報発信、子育て世代・就労世代向けの情報発信）
					計（NO.1）	45,049,000	44,583,390			

ＫＰＩ（重要業績評価指標）名	ＫＰＩ基準値	ＫＰＩ目標値				ＫＰＩ実績値				達成度合	達成度合	事業効果（委員）
		H29	H30	R1	計	H29	H30	R1	計			
空き家バンク登録物件を通じた移住定住者数（人）	16	30	40	50	120	28	7	14	49	41%	目標値の達成は5割未満	地方創生に効果があった
転出超過人数（人）	200	190	170	150	510	131	67	162	360	142%	目標値を達成	
空家バンクへの登録件数（件）	20	30	60	100	190	26	19	20	65	34%	目標値の達成は5割未満	
空家の賃貸・売買契約数（件）	5	5	10	20	35	24	10	13	47	134%	目標値を達成	

令和元年度地方創生交付金事業に関する効果検証結果（令和2年10月7日　山県市まち・ひと・しごと創生会議による検証、令和2年11月25日　山県市議会全員協議会にて報告）

NO	対象事業名		事業期間	R1決算の成果説明書ページ	詳細事業名	事業費（予算額）	実績額（H29）	事業項目	事業の実績・数値目標に対するコメント（委員）	今後の事業実施について
2	水栓バルブ発祥の地・山県の水栓バルブ製造業リノベーション事業		H29～R1	138	－	78,000,000	75,904,132	（１）効率性向上を目指し、投資を推進するための助成 （２）新製品等の開発を促す （３）採用難や人材不足を解消するため引き続き合同就職説明会、さらにインターンシップや企業見学会を実施し人の確保を行う （４）戦略的なプロモーションにより販路拡大を目指す	・コロナあり。今後、こうした影響も加味した施策を打ってみては。 ・KPI３地域内勤務者所得年間増加額は計測不能になっている。　計４ ・水栓バルブ事業に特化せず、自宅通勤の希望が多いというニーズを活用し、地元の様々な企業への見学会、アプローチを積極的に行っては。	商工会に設置された水栓バルブ推進委員会において、従来の生産性の向上、人材確保・定着、将来性の向上の3本の柱に加え、新たに海外展開への対応と環境規制への対応という2本の柱を中心に、事業の新機軸を打ち立てて、支援する必要がある。
3	武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト		R1	37	岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会負担金	1,800,000	1,800,000	県や山県市のほか7市町で構成された協議会への負担金で、HP、パンフレットなどによる情報発信、クイズラリーやスタンプラリーで桔梗塚、大桑城跡を巡り、岐阜の魅力お披露目会で市の特産品展示を行った。		
					計（NO.2+NO.3）	79,800,000	77,704,132			
					計（NO.1+NO.2+NO.3）	124,849,000	122,287,522			

ＫＰＩ（重要業績評価指標）名	ＫＰＩ基準値	ＫＰＩ目標値				ＫＰＩ実績値				達成度合	達成度合	事業効果（委員）
		H29	H30	R1	計	H29	H30	R1	計			
水栓バルブ産業新規採用者数（人）	0	10	45	50	105	43	53	41	137	130%	目標値を達成	地方創生に相当程度効果があった
水栓バルブ産業の地域経済牽引事業の新規事業件数（件）	0	0	3	11	14	0	3	14	17	121%	目標値を達成	
地域内勤務者所得年間増加額（千円）	3,440	0	20	40	60	－	－	－	－	－	計測不能	
地域経済牽引事業による付加価値創出額（千円）	0	0	50,000	150,000	200,000	0	2,083	108,745	110,828	55%	目標値の5割以上を達成	
（当広域事業の代表がＫＰＩを設定するため、当市は評価しない）											－	－

平成29年度地方創生拠点整備交付金事業

NO	対象事業名		事業期間	R1決算の成果説明書ページ	詳細事業名	事業費（予算額）	実績額（H29）	事業項目	事業の実績・数値目標に対するコメント（委員）	今後の事業実施について
4	日帰り観光拠点「伊自良湖」リノベーション事業		H29	なし	（ラブレイク）	－	111,672,648	※平成29年度完了の地方創生拠点整備交付金事業であるため今回の委員会で検証はせず、ＫＰＩの報告を行った。（事業完了後、2年間（R1まで）はKPIを測定する）		

ＫＰＩ（重要業績評価指標）名	ＫＰＩ基準値	ＫＰＩ目標値				ＫＰＩ実績値				達成度合	達成度合	事業効果（委員）
		H29	H30	R1	計	H29	H30	R1	計			
伊自良湖周辺施設への来場者増加人数（人）	4,800	2,200	8,000	10,000	20,200	8,864	13,626	13,655	36,145	179%	目標値を達成	地方創生に非常に効果的であった
伊自良湖周辺施設での売上げ収入　増加額（千円）	6,500	3,500	4,500	6,000	14,000	4,727	12,125	9,140	25,992	186%	目標値を達成	